＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
北部地域振興交流拠点施設（仮称）整備事業

1 事業概要

【経緯】
北部地域振興交流拠点については、県市の共同事業として、昭和６０年のテクノグリーン構想以来、検討を続けてきましたが、令和４年度からの県の５か年計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」が位置づけられたことを踏まえ、本格的な検討を再開しました。

【目的】
県と連携して整備を進める北部地域振興交流拠点への導入機能等について検討し、基本構想を策定します。

【内容】
産業振興や交流機能の活性化を図るため県と連携して整備を進める北部地域振興交流拠点の導入機能等を検討するとともに、老朽化する本庁舎の更新検討に合わせて、北部地域振興交流拠点施設への市役所機能の一部移転も含め検討し、基本構想を策定します。

2 特徴やPRポイント

北部地域振興交流拠点の整備により産業振興や交流機能の活性化が図られ、市役所の分庁舎方式の解消による行政機能の集約、県市の行政機能の連携により、市民サービスと利便性向上が期待できます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　大木、松岡
連絡先　℡048-524-1115（直通）　　内線　215

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
子育て支援･保健拠点施設整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化が進行する保育所や保健施設、診療所等の再編及び機能移転と、子どもの遊びの場・学びの場や子育てに関する相談機能を有する（仮称）こどもセンターの整備を複合的に行い、子育て・保健に係る機能の充実や連携強化を図ります。

【内容】
４棟５施設の複合施設として整備します。
・（仮称）こどもセンター及び（仮称）新石原児童クラブ（約3,060㎡）
・（仮称）保健センター（約2,100㎡）　・（仮称）中央保育所（約1,700㎡）
・休日・夜間急患診療所（約320㎡）

【効果】
・行政と民間事業者が連携し、子育て支援と健康づくりに関するきめ細かいサービスを提供します。
・遊び、学びと相談の場が併設された、子育て世代の憩いの場を整備し、子どもの健康や発育、発達に関する不安、保護者の心身の不調や育児不安など、複合的な問題の早期発見や深刻化の防止に繋げていきます。

2 特徴やPRポイント

・令和５年度は設計業務を実施しました。DBO方式を採用し、建設・運営事業者が設計段階から関わったことで、無駄のない施設配置、動線計画となりました。
・（仮称）こどもセンターの運営には、埼玉県内、熊谷市内の子育て支援の現状を良く知る民間事業者が関わります。地域の実情に合わせた、多様な遊びの場、学びの場を提供します。
・屋外には子どもの遊び場のほか、ウォーキングコースや健康遊具コーナー等を設け、健康づくりのために多世代で利用できる施設とします。

3 その他

・令和６年度は、４月～６月に既存施設の解体及び造成工事、７月から建設工事を行う予定です。

※ 資料の有無（ (有) ・ 無 ）

担当者　福祉部こども課　　担当　茂木･新島
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　255

○子育て支援・保健拠点施設イメージ図



全体外観透視図（南東鳥観図）



全体外観透視図（北西鳥観図）



外観透視図（仮称）こどもセンター、（仮称）新石原児童クラブ



外観透視図（仮称）中央保育所



外観透視図（仮称）保健センター



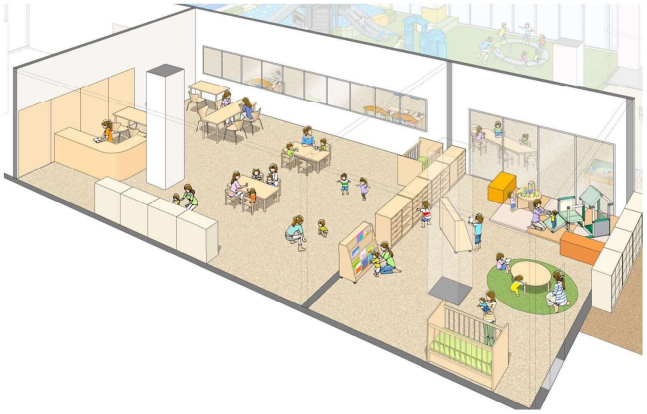
外観透視図 休日・夜間急患診療所



内観透視図 （仮称)こどもセンター エントランスホール



内観透視図 （仮称)こどもセンター プレイルーム



内観透視図 （仮称)こどもセンター 乳幼児室・子育て広場



内観透視図 （仮称)こどもセンター 中高生向けスペース



内観透視図 （仮称)こどもセンター 中庭



内観透視図 （仮称)こどもセンター 軽体育室

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化した施設や更新の難しい施設を集約・複合化し、世代、活動分野を超えて、様々な人々が「集まり」・「出会う」交流の拠点となる施設を整備します。「生涯」にわたってあらゆる分野の「活動」を行える施設を目指します。

【内容】
令和１０年４月の供用開始に向け、令和６年度は建築工事に向けた施設の詳細設計を行います。また、整備地東側道路（市道70217号線）は、施設の接道要件を確保するとともに、雨水対策を兼ねた整備を行います。

【経緯】
令和４年度に基本構想・基本計画策定、民間活力導入可能性調査を実施しました。令和５年度は基本設計、地質調査を実施しています。

【効果】
多様な利用者が訪れることを想定し、安心して利用できる施設を整備します。

2 特徴やPRポイント

（仮称）第２中央生涯活動センターの基本理念は「つながるフィールド　～生涯活動拠点～　」です。施設は２階建ての計画です。１階中央にはスクラムホールという地域活動、市民活動に自由に活用いただけるスペースを配置します。その周りに比較的小規模の活動室を１１部屋配置します。２階には２００名が入れる活動室と体を動かす活動や音楽活動での交流ができる多目的室を配置します。

■建設予定地：熊谷市石原１４０７―１及び１４０１―５
既存建物：勤労青少年ホーム、勤労者体育センター、勤労会館、防災まちづくり倉庫等
■延床面積：約３，０００㎡

3 その他

ZEBReadyの省エネ性能水準に適合する施設とします。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　市民部市民活動推進課　　担当　遠藤
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　330



鳥瞰 イメージ



北側外観 イメージ



南側外観 イメージ



内観 イメージ



内観イメージ



内観イメージ



内観イメージ



内観イメージ